

介護が始まったら DIYで照明リフォーム

みんなで
作ろう

手作り&DIYで
工事不要!



どうして?

落ち着かない、眠れない、体内時計が狂う、手暗がりになる。

天井の明るい照明が「ストレス照明」になるからです



天井の明るい照明

介護が変わる
あかりの魔法

AKARI BANK

手作りのあかりと
間接照明

まずは
あかりの窓口で
無料相談
オンライン
でもOK

仮設なので
賃貸住宅でも
OK



介護照明の相談室

あかりの窓口



橋田裕司(はしだひろし)
介護照明コーディネーター
照明デザイナー
(有)プロト商品計画 代表取締役
手作り照明教室「照明塾」塾長

手作り&DIYでリノベーションができます

照明のプロ：橋田裕司による責任監修

介護が始まって住宅改修をする時、現時点において照明を変えようという人はほとんどいません。でも、ちょっと考えてみてください。介護ベッドから見えるのは、いつも天井の眩しい照明なんです。

このような照明のままでは、眠りや体内時計に影響が出るなど、気づかない内にいろんな問題（睡眠障害や昼夜逆転など）が蓄積されます。

私たちが提唱する「介護照明」を導入したご家庭からは、「こんなに変わると思わなかった」とか「夜の介護が格段に楽になりました」という声が寄せられています。

施工プロセスは、まず介護照明コーディネーターが現地を調査し、基本プラン（有料）を作成。業者に頼むのではなく、ご家族や地域の方々と一緒にDIY施工。材料はホームセンターで揃えます。だから低予算で実現できます。

介護照明のご相談は、照明塾の「あかりの窓口」まで

照明塾：https://www.shomeijuku.com（ヘルスケアライティングのページ）

HP内の「問い合わせフォーム」をご利用ください。

